

押刈 素子

【経歴】

- 1998年 長崎大学第二外科入局
→乳腺外科をやりたいなあとぼんやり考えていました
- 1999年 山口県立中央病院勤務
→防府でいまの主人と知り合いました
結婚を考えベッドフリーがいいなあと考えたこと、病棟で腸管の見えている患者さんを二人受け持ちショックだったこと、自分の絵のセンスのなさを痛感したことから、外科をやめることにしました
- 2000年 長崎大学麻酔科転科
→麻酔科では第二外科の麻酔をかけても大丈夫？と心配されましたが、第二外科の先生方からはイヤミひとつ言われることなく助かりました
- 2002年 長崎大学大学院入学
- 2004年 長男出産
- 2005年 長女出産
- 2006年 大学院卒業
- 2007年 女性医師復帰支援機構を利用して職場復帰
- 2008年 実家の病院へ勤務
→気づいたら毎日、内科外来を担当し、ベッドも受け持つ日々です…

【資格】

- 2002年 麻酔科標榜医取得
- 2006年 麻酔科専門医取得

【メッセージ】

外科から麻酔科、気づいたら内科？と自分で何をやっているんだろうと悩むこともありますが、今のところ目の前の仕事を片付けることで精一杯です。あまりにも疲れて子供の前で大泣きすることもあります、子育てしながら仕事も出来るなんてお得だわ！と前向きに頑張りたいと思います。

日本の育児環境ではまだまだ仕事と育児の両立に困難を感じることもありますが、医師という職業を選択した以上、女性であってもずっと働き続けることが大切だと思います。キャリアとともに職場での立ち位置が変化し、子供の成長とともに母親としての関わりも変化してきますが、女性だからこそしなやかに対応できるはず！

頑張ろう！女性医師！